

# 道内住宅市場動向調査結果

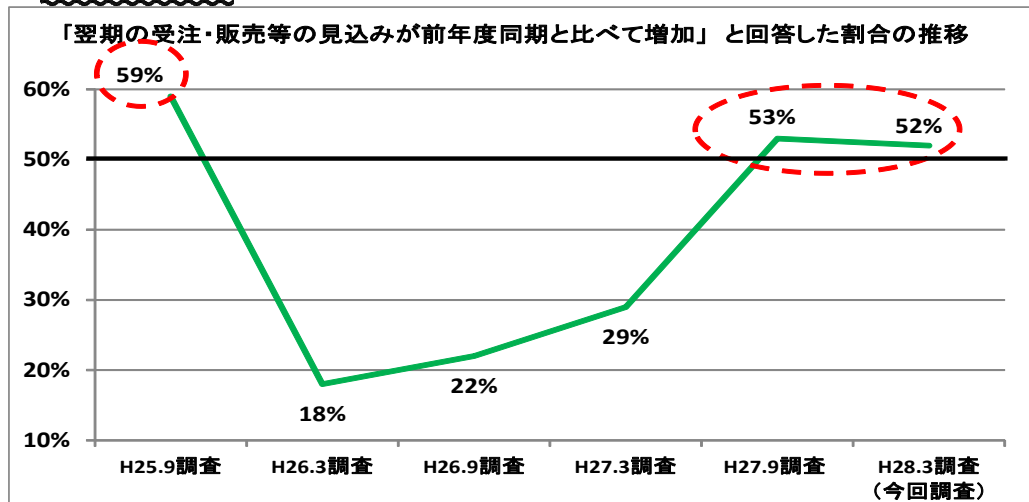
## 【平成28年度見込み】

### 1 道内の住宅市場について<住宅事業者向け調査結果>

【調査結果概要】： 別添1「道内住宅市場動向調査結果（概要版）」参照

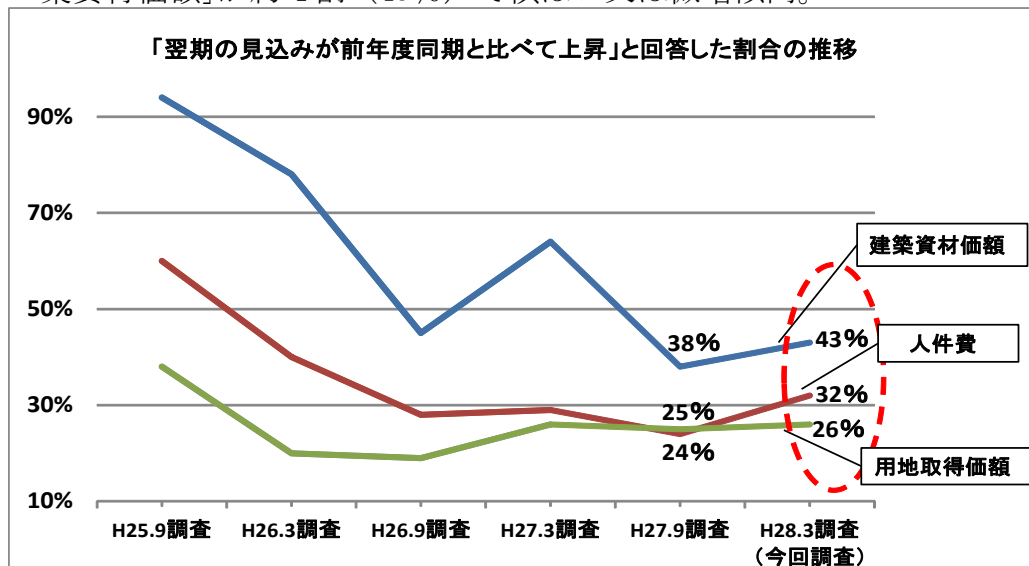
#### (1) 受注動向

- 「平成28年度の受注・販売等の見込み」について、平成27年度比で「増加」と回答した事業者が前回調査に続いて半数超え（52%）。
- 増加要因については、「消費税率引上げ<8→10%>前の駆け込み効果」（48%）が最も多く挙げられており、駆け込みによる受注増への期待感が表れている。



#### (2) 価額動向

- 平成28年度の各価額見込みについて、平成27年度比で「増加」と回答した事業者の割合は、「人件費」・「用地取得価額」が約3割（32%・26%）、「建築資材価額」が約4割（43%）で横ばい又は微増傾向。



- 「平成28年度の住宅価額の設定」については、半数を超える（60％）住宅事業者が平成27年度と比べて「同程度」と回答。

ただし、「マンション」については、「住宅価額」は上昇すると見込む事業者が多数（67％）を占める。

## 2 道内の住宅ローン市場について＜金融機関向け調査結果＞

【調査結果概要】：別添3「道内住宅市場動向調査結果（概要版）」参照

### (1) 受理動向

- 「平成28年度の住宅ローン（フラット35を含む。）の受理状況見込み」は、平成27年度比で「同程度」と回答した金融機関が多数（67％）を占める結果となった。

一方で、平成27年度比で「増加」と回答した金融機関は20％に留まり、上記1（1）の住宅事業者向け調査結果と比べると、金融機関は平成28年度の住宅市場に慎重な予測を立てていることが見受けられる。

### (2) 利用が多い住宅ローンのタイプ

- 現在のお客さまの利用が多い住宅ローンのタイプは「3年固定型」（65％）と「全期間固定型」（25％）が合計90％と、当該2つの住宅ローンタイプで大多数を占める結果となった。

### (3) 住宅ローンへの取組姿勢

- 「平成28年度の住宅ローンへの取組姿勢」において、「フラット35以外の住宅ローン」については、半数を超える（62％）金融機関が「平成27年度と同程度に推進する」と回答し、「フラット35」については、多数（71％）の金融機関が「平成27年度と同程度に推進する」と回答しており、多くの金融機関が姿勢を変えずに引き続き住宅ローンを推進すると回答している。

### 【添付資料】

- ・別添1 <住宅事業者向け> 道内住宅市場動向調査結果（概要版）
- ・別添2 <住宅事業者向け> 道内住宅市場動向調査結果（詳細版）
- ・別添3 <金融機関向け> 道内住宅市場動向調査結果（概要版）
- ・別添4 <金融機関向け> 道内住宅市場動向調査結果（詳細版）

照会先

北海道支店営業推進グループ

藤井、佐藤、大津（平成27年3月まで）

藤井、大河原、森（平成27年4月以降）

TEL：011-261-8306